

組織学・発生学

《担当者名》建部 廣明 (歯学部) takebeh@ 岸本 有里 (歯学部) y-seki035@

【概要】

歯科臨床の基礎を理解するために、口腔を含む人体諸器官の組織構造を学ぶ。また、個体発生の仕組みと人体諸器官の発生に関する知識を身につける。

【学修目標】

細胞の構造を説明する。
上皮組織を形態的及び機能的に分類する。
結合組織の線維要素と細胞要素を説明する。
軟骨組織の分類および特徴を説明する。
骨組織の構造及び発生を説明する。
筋組織 (骨格筋、平滑筋、心筋) の構造を説明する。
中枢神経系と末梢神経系の構造を説明する。
動脈、毛細血管、静脈及びリンパ管の構造を説明する。
造血器の構造と赤血球、白血球及び血小板の形成過程を説明する。
リンパ性器官を説明する。
消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) 及び消化腺 (肝臓、膵臓) の基本構造を説明する。
気道系 (鼻腔、副鼻腔、咽頭、気管、気管支) と肺の構造を説明する。
腎臓と尿路 (尿管、膀胱、尿道) の構造を説明する。
男性生殖器と女性生殖器の構造を説明する。
内分泌器官の構造を説明する。
皮膚の構造を説明する。
感覚器 (眼球、内耳、嗅上皮、味蕾、皮膚感覚器、深部感覚の受容器) の構造を説明する。
歯の硬組織 (エナメル質、象牙質、セメント質) の構造を説明する。
歯髄の構造と機能を説明する。
歯根膜、歯肉、歯槽骨の構造と機能を説明する。
歯と歯周組織の発生の過程を説明する。
口腔粘膜の特徴を説明する。
唾液腺の構造を説明する。
顎関節の構造を説明する。
個体発生と器官発生を説明する。
受精から出生に到る過程を説明する。
三胚葉生胚盤の発生とそれぞれから派生する組織・器官系について説明する。
口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を説明する。
加齢による歯と歯周組織の変化を説明する。
骨及び歯の吸収を説明する。
歯の形態の進化を説明する。
歯の形態と形態異常を説明する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部 (研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー (学位授与方針) との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

建部廣明 (歯科医師)、岸本有里 (歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験をもとに、臨床に生きる講義を実践している。